



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長兼CEO 兼CBO（氏名） 三木 逸郎

問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 妹尾 泰三（TEL）03-3603-1149

半期報告書提出予定日 2024年8月6日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	28,534	1.9	2,414	323.6	2,508	264.8	2,402	307.0
2023年12月期中間期	28,006	10.0	570	—	687	—	590	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 2,873百万円（132.0%） 2023年12月期中間期 1,238百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	235.89	—
2023年12月期中間期	57.77	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	65,115	30,551	46.8
2023年12月期	62,443	28,255	45.2

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 30,504百万円 2023年12月期 28,208百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	50.00	50.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,300	0.1	2,770	16.8	2,800	7.9	2,430	17.0	238.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年12月期中間期	10,306,895株	2023年12月期	10,306,895株
2024年12月期中間期	132,927株	2023年12月期	84,388株
2024年12月期中間期	10,184,959株	2023年12月期中間期	10,216,902株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)における我が国経済は、社会・経済活動の活性化が進展したことに加え、雇用・所得環境が緩やかに改善するなど回復の動きが見られましたが、資源・エネルギー価格の高止まりや円安の進行による諸物価上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当油脂加工業界におきましては、物流費、包材・副原料等の各種コスト高が継続しましたが、原料油脂価格が比較的安定して推移したことやコロナ禍からの需要回復を背景に景況感の改善が進みました。

このような状況のなかで当社グループは、「中期経営計画(2022~2024年)」の達成に向けた各種施策の実行に取り組むとともに、主力製品の拡販を推進し収益の拡大に注力いたしました。また、付加価値の追求に重点を置いた製品開発を進める一方で、国内外の各種展示会への出展やオンラインツールを活用した販売促進活動の強化など、新たな市場開拓と用途開拓にも努めました。

この結果、売上高は28,534百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は2,414百万円(前年同期比323.6%増)、経常利益は2,508百万円(前年同期比264.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2,402百万円(前年同期比307.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

## ① 食品事業

食品事業につきましては、アフターコロナにおける国内人流とインバウンド消費の増加等により土産菓子・外食産業関連の需要が旺盛となりました。また、主要販売先である製パン業界をはじめ、流通菓子、カレー等の業界が堅調に推移しました。

このような状況のなか、主力製品であるマーガリン、ショートニング、粉末油脂等の拡販に注力するとともに、新たな価値の創造や付加価値の追求に重点を置いた製品の開発や、市場ニーズを取り入れた製品の拡販にも積極的に取り組みました。これらに加え、包材・副原料、ユーティリティ等の各種コストの上昇に対応するため、販売価格の適正化や、各種原材料・資材の見直し、生産体制の効率化等の取り組みを推進し、収益の拡大に努めました。

この結果、売上高は19,696百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は1,634百万円(前年同期比1,285.1%増)となりました。

## ② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、脂肪酸は、主要需要先である輸送機械、タイヤ、塗料等の業界の需要減少の影響を受けて苦戦したものの、原料価格に対応した適正価格での販売により収益確保に努めました。一方、グリセリンについては、化粧品や食品用の高品質グレードの拡販に注力したことにより好調に推移しました。

界面活性剤製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤は、需要の回復を受けた国内向け製品やアジア市場向けの開発品が好調に推移しました。また、化粧品分野の高付加価値シャンプー向け原料基剤「アンホレックス」やクレンジング製品向け原料基剤「Mファインオイル」が堅調に推移しました。環境関連分野は、ごみ焼却場向け飛灰用重金属処理剤の販売が好調に推移しました。

この結果、売上高は8,478百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は770百万円(前年同期比78.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,671百万円増の65,115百万円となりました。主な増加は現金及び預金1,370百万円、土地1,009百万円、投資有価証券786百万円であり、主な減少は原材料及び貯蔵品447百万円、商品及び製品49百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ376百万円増の34,564百万円となりました。主な増加は借入金1,160百万円、未払法人税等156百万円、電子記録債務47百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金1,176百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,295百万円増の30,551百万円となりました。主な増加は利益剰余金1,887百万円、その他有価証券評価差額金536百万円です。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から46.8%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想を据え置きとさせていただきますが、当期の業績の推移並びに今後の事業展開に必要な内部留保等を勘案した上で検討を進めてまいります。

詳細につきましては、2024年6月24日公表の「2024年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,107	7,478
受取手形及び売掛金	15,183	14,754
電子記録債権	2,894	2,999
商品及び製品	3,099	3,050
仕掛品	758	956
原材料及び貯蔵品	4,292	3,845
その他	525	822
貸倒引当金	△178	△179
流動資産合計	32,684	33,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,594	3,453
機械装置及び運搬具(純額)	3,635	3,689
土地	6,447	7,457
その他(純額)	1,098	705
有形固定資産合計	14,775	15,305
無形固定資産		
その他	942	1,310
無形固定資産合計	942	1,310
投資その他の資産		
投資有価証券	9,726	10,513
退職給付に係る資産	3,684	3,734
その他	651	546
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	14,040	14,771
固定資産合計	29,758	31,388
資産合計	62,443	65,115

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,576	11,399
電子記録債務	867	915
短期借入金	6,425	6,835
1年内返済予定の長期借入金	2,400	300
未払法人税等	896	1,052
その他の引当金	3	2
その他	2,998	3,060
流動負債合計	26,167	23,566
固定負債		
長期借入金	2,785	5,635
退職給付に係る負債	2,511	2,408
役員株式給付引当金	64	63
その他	2,660	2,891
固定負債合計	8,020	10,998
負債合計	34,187	34,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	8,948	10,836
自己株式	△124	△188
株主資本合計	23,331	25,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,936	4,472
退職給付に係る調整累計額	940	876
その他の包括利益累計額合計	4,877	5,349
非支配株主持分	47	46
純資産合計	28,255	30,551
負債純資産合計	62,443	65,115

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	28,006	28,534
売上原価	23,968	22,190
売上総利益	4,038	6,343
販売費及び一般管理費	3,468	3,929
営業利益	570	2,414
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	116	114
持分法による投資利益	8	20
その他	72	52
営業外収益合計	198	189
営業外費用		
支払利息	50	50
その他	29	45
営業外費用合計	80	95
経常利益	687	2,508
特別利益		
投資有価証券売却益	169	865
特別利益合計	169	865
特別損失		
有形固定資産除却損	17	48
関係会社株式評価損	-	16
特別損失合計	17	65
税金等調整前中間純利益	840	3,308
法人税、住民税及び事業税	116	887
法人税等調整額	132	20
法人税等合計	249	907
中間純利益	590	2,401
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	590	2,402

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	590	2,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	678	536
退職給付に係る調整額	△30	△64
その他の包括利益合計	647	472
中間包括利益	1,238	2,873
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,238	2,874
非支配株主に係る中間包括利益	0	△1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	840	3,308
減価償却費	866	830
投資有価証券売却損益(△は益)	△169	△865
関係会社株式評価損	-	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24	△102
受取利息及び受取配当金	△117	△115
支払利息	50	50
持分法による投資損益(△は益)	△8	△20
売上債権の増減額(△は増加)	1,553	325
棚卸資産の増減額(△は増加)	261	298
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,045	△1,128
未収消費税等の増減額(△は増加)	356	-
その他	325	△270
小計	867	2,327
利息及び配当金の受取額	153	138
利息の支払額	△52	△50
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	68	△725
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037	1,689
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
子会社株式の取得による支出	△0	△524
投資有価証券の売却による収入	201	1,370
有形固定資産の取得による支出	△653	△1,624
建設仮勘定精算による収入	-	485
有形固定資産の除却による支出	△17	△48
無形固定資産の取得による支出	△208	△374
敷金の差入による支出	△0	△140
長期前払費用の取得による支出	△10	△1
その他	19	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△669	△871
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	410
長期借入れによる収入	-	3,000
長期借入金の返済による支出	△370	△2,250
自己株式の取得による支出	△0	△69
自己株式の売却による収入	22	6
配当金の支払額	△309	△515
その他	△36	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△692	552
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△324	1,370
現金及び現金同等物の期首残高	4,955	6,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,631	7,478

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,980	8,687	27,667	338	28,006	—	28,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125	80	206	71	277	△277	—
計	19,106	8,767	27,873	410	28,284	△277	28,006
セグメント利益	118	431	549	20	570	—	570

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,696	8,478	28,174	359	28,534	—	28,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66	50	116	71	188	△188	—
計	19,762	8,528	28,291	431	28,722	△188	28,534
セグメント利益	1,634	770	2,405	9	2,414	—	2,414

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。